書評漫才ネタ作り作業シート(ぼくのくれよん)

- 1. どんなストーリー(内容)か?書いた人はどんな人か?
- ・どうが大きなクレヨンでかいた絵で、 まわりの動物たち(ダチョウ、ゴリラ、キリン、シマウマ、カバなど)がおどろかされる話
- ・「キャベツくん」を書いた人
- 2. どこがおもしろいのか、 ツッコミどころはどこか?
- ・表紙からは考えられない、クレヨンの大きさ
- ・「にゅー」「びゅーびゅー」など音をあらわす言葉
- ・ぞうがかいたものに対する動物たちの反応(池だと思ってカエルが飛びこむ、など)
- 3. 内容に関係したダジャレ、などなど、最近話題になっていることは?
- ·タイトルぼくのくれよん→ぼくにくれよん
- ・おはなし・え 長新太(ちょう しんた)→聴診器(ちょうしんき)
- ・ワールドカップ、青色サムライブルー、赤色スペイン(エスパニョール)、黄色プラジル
- ·クレヨンはフランス語では「えんぴつ」
- ・クレヨンの色数 12 色、24 色
- 4. しゃべる内容のじゅんばん、全体の流れを考える
- ・タイトル、書いた人、出版社(しゅっぱんしゃ)を説明する
- ・本の内容、おもしろいところを話す
- 5. 練習して、分かりにくい言葉や難しい言葉、しゃべりにくい言葉は言いかえる

(できれば誰かに見てもらって、ダメ出しをしてもらうと良い)